

令和8年3月17日

都市地域デザイン研究室、都市空間デザイン研究室

## シェアサイクル実装に向けた社会実験

### 1. タイトル

南草津駅から帰帆島におけるルートの危険箇所の把握・危険度の明確化  
～SDGs Awards シェアサイクル実装に向けた取り組み～

### 2. 社会実験の概要

#### 2.1. 社会実験の目的

- (1) シェアサイクル導入時に南草津駅から帰帆島までのエリアで大学生が通過すると考えられるルートの把握
- (2) (1)ルートの利用者目線で感じた危険度の明確化

#### 2.2. 実施内容

- (1) 大学生の需要アンケート調査  
(南草津駅から帰帆島における大学生目線で需要がある箇所の把握)
- (2) アンケート調査をもとにルート策定  
(南草津駅から帰帆島までの需要がある箇所に立ち寄れるルートを策定する)
- (3) 自分たちが(2)ルートを試走  
(実際に走れるかどうか、走行時間、危険箇所の把握)
- (4) 被験者に(2)ルートを電動自転車で走行してもらい、危険箇所の評価  
(数、電動自転車との違い、フラットな目線での評価、危険箇所の把握)
- (5) 実験データの整理・分析

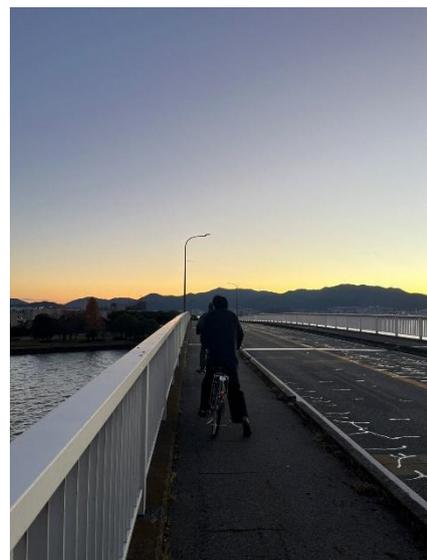
### 3. 進捗

#### 3.1. 調査人数：計 15 人

#### 3.2. 策定したルート



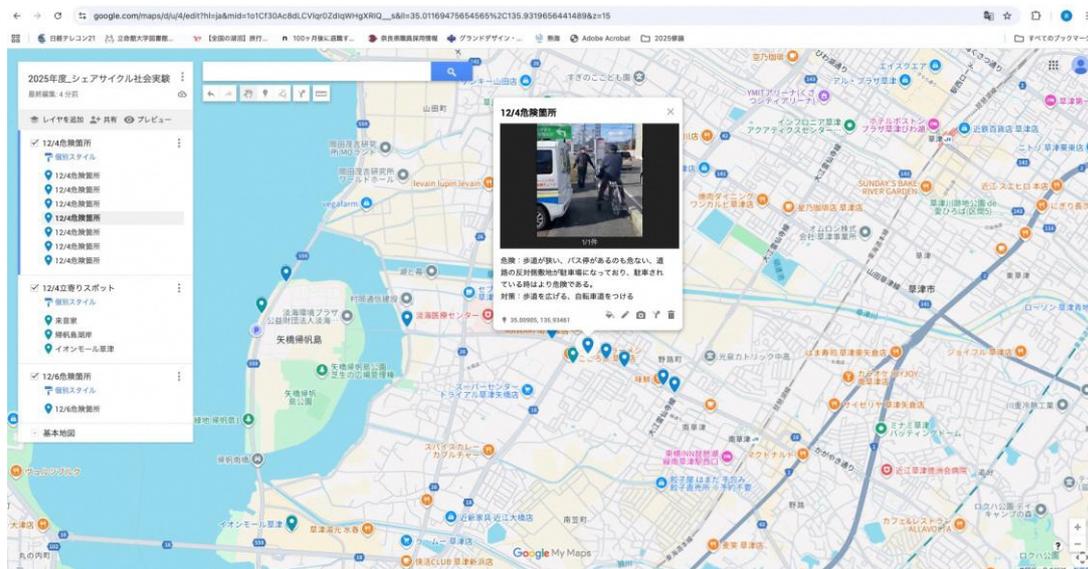
3.3. 調査風景



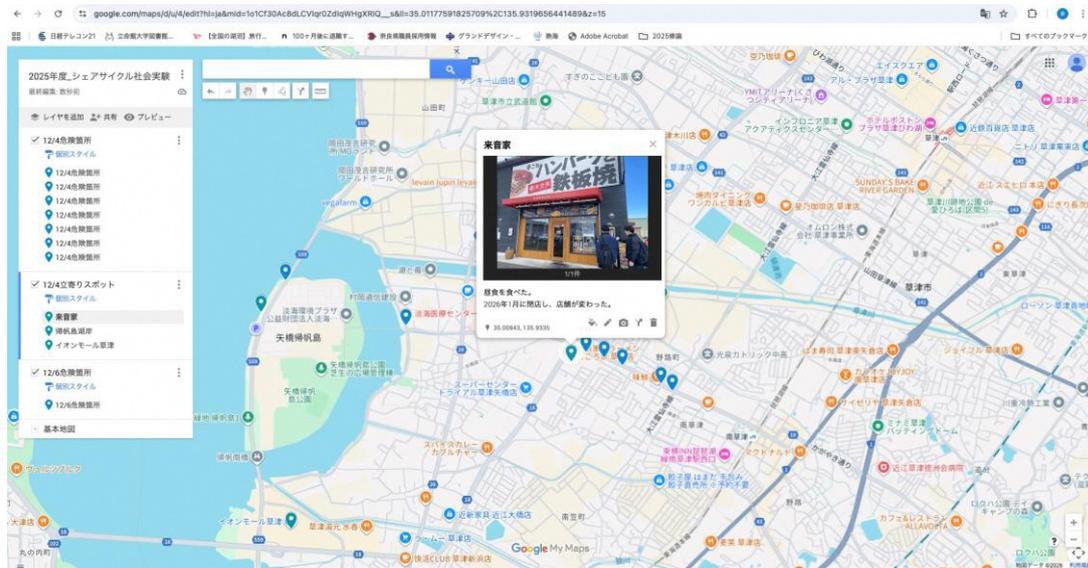
### 3.4. 結果

社会実験結果を①、②のようにまとめ、老上西まちづくりセンター、草津市に共有する。

#### ①危険箇所のプロット



#### ②魅力箇所のプロット



### 4. 今後の予定

- ・危険箇所や魅力箇所の発信

### 5. 資料

- ・実験前の説明資料
- ・実験データ